

2019

大阪維新の会

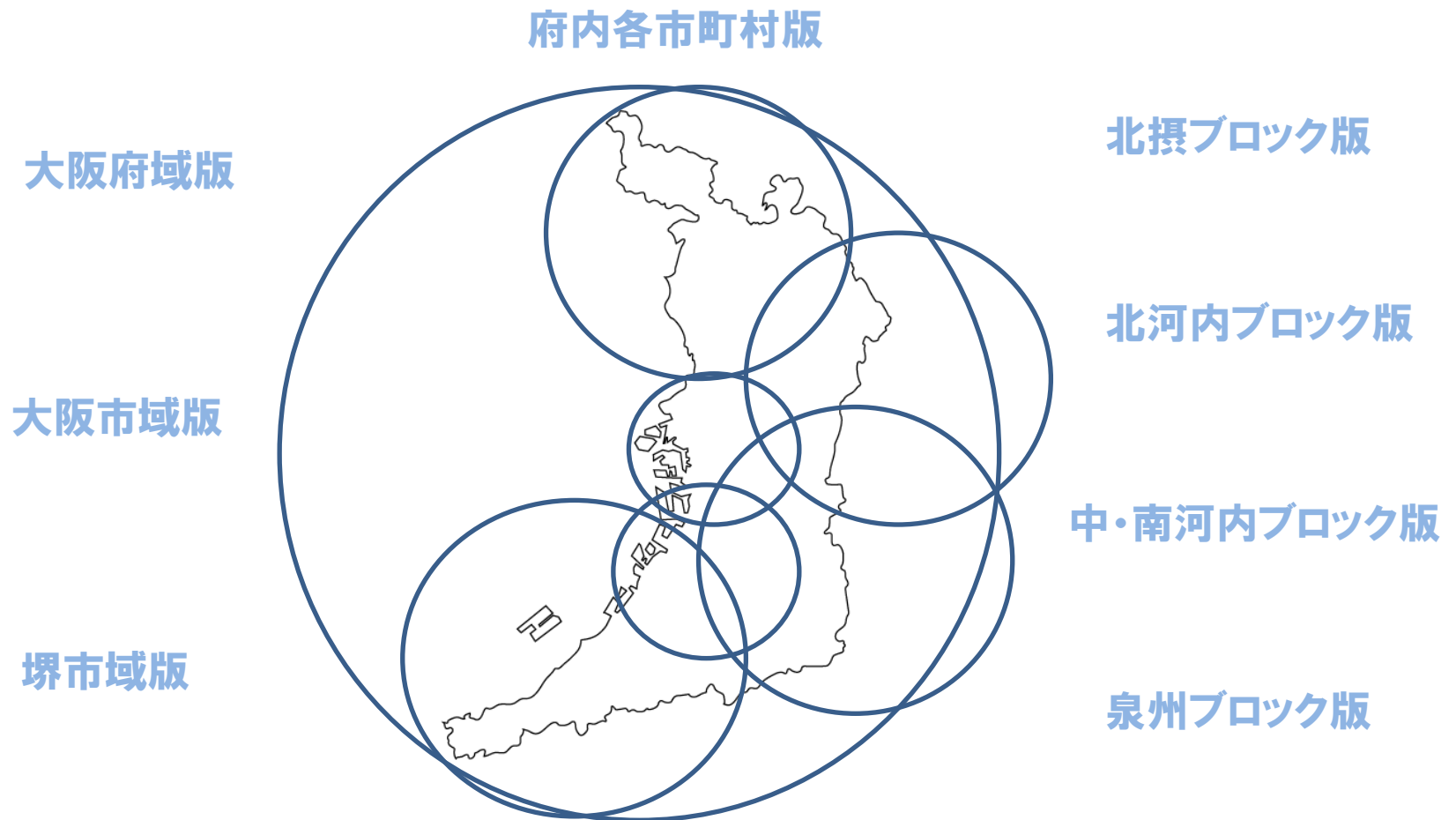
四條畷市マニフェスト

Manifesto



大阪維新の会 マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく



項 目	具体的施策	現状・課題認識
身を切る改革 自主財源の増加に 向けての取り組み (潤いのある街)	・意識改革による、自主財源増加にたいする提案を募集(職員・市議会) ・滞納の税金の徴収率の向上にむけた取り組み ・無駄な経費の見直し ・大型商業施設の誘致	・本市は、市民税の内、個人分と固定資産税で8割以上占めています。法人税より、タバコ税が多いのが現状の中、いかに自主財源を増加させる意識を高めていけるかを考えて行きます。 ・議員給与の10%カット 53000×12人×12か月 年額7632000円の支出削減
商業 ・産業の活性化 (潤いのある街) (人が集まる街)	・本市の、郵便番号が575に伴い、各施設に575の入ったプライスの商品を作成 ・協力店舗掲載の、MAPを作成 ・協力店ステッカーの作成	・平成27年に、イオンモール四條畷がオープンし、本市の商業・産業が右肩下がりになる中、従来以上の各種団体の結束を持って売上増加に向け取り組んで行く様に働きかける施策を提案しています。
障がい者スポーツ の誘致(人が集まる街)	・ブラインドサッカーの誘致(視覚障害) ・デフサッカーの誘致(聴覚障害) ・多目的グラウンドの外野部分の人工芝化	・29年4月に、大阪府サッカー協会・t o t oサッカーくじから助成金を頂き、人工芝グラウンドがオープンしましたが、その後、多目的グラウンドがオープンしましたが、このグラウンドの活用方法を検討
子育て世代の誘致 と定住(魅力のある街・人が集まる街)	・新園舎建設し、課題を解消する	・0～2歳児の保育施設の拡充 ・待機児童の解消 ・地域手当の増加に伴う、保育士の増加